

補助金 | 令和7年度 酒類業振興支援事業費補助金

日本産酒類の輸出拡大・経営改革支援

最大1,500万円

締切：9月11日

申請難易度：★★★★★

全国

補助金の概要

酒類事業者の**海外展開**と**新市場開拓**を支援し、日本産酒類の輸出拡大及び酒類業の経営改革・構造転換を図る国税庁の補助金制度です。

支援内容

海外展開支援枠

日本産酒類の海外販路拡大・商品の高付加価値化

酒蔵ツーリズムの推進・観光化の取組

最大1,500万円

補助率：1/2

新市場開拓支援枠

商品の差別化による新たなニーズ獲得

ICT技術を活用した製造・流通の高度化

最大500万円

補助率：1/2 or 2/3

対象者

酒類製造免許・販売業免許を有する事業者

- ☐ 酒類事業者（個人・法人・団体）
- ☐ 酒類業組合等
- ☐ 酒類事業者を含むグループ
- ☐ 日本国内に所在する者

重要な要件

【新市場開拓支援枠の必須要件】

給与支給総額**年率1.5%以上**の増加計画

売上または付加価値額**年率3%以上**の増加計画

※達成できない場合は補助金の一部返還

- ☐ 設備投資のみで完結する事業は**審査上不利**
- ☐ jGrantsによる電子申請（GビズID必須）
- ☐ 他の国等補助金との**重複採択不可**
- ☐ 同一年度内・同一代表者の**複数申請不可**
- ☐ 事業化状況報告を**5年間継続**して実施
- ☐ 報告漏れ・虚偽報告には**返還命令**
- ☐ 採択結果への**異議申立て不可**

戦略的分析

【採択のポイント】

- ☐ **新規性・先進性**の明確な根拠づけ
- ☐ 競合他社との**差別化・優位性**の具体的記載
- ☐ 客観的データに基づく**現状分析**

【成功要因分析】

- ☐ 設備投資以外の**複合的取組**（調査・開発・広報等）
- ☐ 明確な目標設定と**実現可能な計画**
- ☐ 専門家活用・役割分担の明確化

対象経費の活用実態



- **45%** 設備等費・委託費・外注費
- **25%** マーケティング調査費・広報費
- **20%** 展示会出展費・旅費
- **10%** その他（謝金・通訳翻訳費等）

業種別活用例

業種	海外展開支援枠	新市場開拓支援枠
清酒	海外向けブランド戦略 現地調査・情報発信	個人向けオーダーメイド AI品質管理システム
焼酎	酒蔵ツーリズム推進 観光化・受入整備	地域産品との連携商品 テイスティング販売
ワイン	海外レストラン連携 認知度向上取組	ペアリング特化商品 データ分析販売手法

審査基準（簡潔版）

評価項目	重要ポイント
現状分析	客観的データ・競合比較
新規性	類似事例との明確な差別化
実施体制	財務・人材・専門家活用
計画妥当性	具体的目標・実現可能性

専門家活用のススメ

- ☐ 中小企業診断士：事業計画策定・経営改善
- ☐ マーケティング専門家：市場調査・販路開拓
- ☐ 海外展開コンサルタント：現地調査・ブランド戦略
- ☐ 補助金申請専門家：申請書作成・審査対策

必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
補助事業計画書	☐ 新規性・差別化の 根拠明記 ☐ 設備投資以外 の取組記載 ☐ 具体的な 実行スケジュール
経費明細表・一覧表	☐ 経費の妥当性・費用対効果 ☐ 相見積もり等の証憑準備
決算書（直近2期分）	☐ 財務状況の健全性確認 ☐ 事業継続能力の判断
その他添付書類	☐ パートナーシップ宣言（加点要素） ☐ 各種認定証明書等

申請方法・スケジュール

- jGrantsでの電子申請**
2025年7月23日（水）～9月11日（木）17:00
GビズIDプライムアカウント必須（取得に1-2週間）
- 書類準備期間**
申請前2-3ヶ月の準備期間を推奨
事業計画書の論理的整合性が重要
- 申請先**
主たる事業実施場所を所轄する国税局
jGrantsシステム上で選択

審査・採択スケジュール

- 審査期間**
9月中旬～12月頃（予定）
- 採択結果通知**
12月末頃（予定）
- 事業実施期間**
交付決定後～令和8年2月末

問い合わせ

制度詳細	https://www.nta.go.jp/taxes/sake/boshujoho/hojojigyo.htm
申請システム（jGrants）	https://www.jgrants-portal.go.jp/
問い合わせ先	主たる事業実施場所を所轄する国税局 ※各国税局の連絡先は制度詳細ページをご確認ください